

## 第2学年 学年・学級経営方針

### 1 学年経営方針（教員の共通理解）

- (1) 社会で貢献するための、基本的な生活習慣と学力を身に付けさせる。
- (2) 家庭学習を習慣化させ、自ら学習に取り組むことができる生徒を育成する。
- (3) 将来の目標や進路について見通しを持ち、前向きに努力することができる生徒を育成する。
- (4) 自己や他者を理解し認め合い、集団の中で自らを高められる生徒を育成する。

### 2 学級経営方針（生徒に望む姿）

#### 学年目標「実幸力」

- ① あきらめずに継続して学習に取り組める生徒。
- ② 苦手なことや根気のいることに対しても、粘り強く取り組むことができる生徒。
- ③ 学級や学校での仕事、行事での役割などで責任ある行動が選択できる生徒。
- ④ 自己理解を深め、他者との違いを理解し、尊重することができる生徒。
- ⑤ 集団として成長し、互いに高め合おうとする生徒。

### 3 2を達成するための具体的手だて

|             | 生徒の活動                      | 方針の項目             | ねらい   |
|-------------|----------------------------|-------------------|---|
| 1<br>学<br>期 | 日常<br>(2,3学期も同様)           | 2-①<br>2-③<br>2-④ | 学習習慣の定着。<br>集団の中での自らの役割を自覚し、責任を果たす。<br>得手不得手を理解し、お互いに協力し合う。             |
|             | 夜明山戦跡調査                    | 2-②               | 小笠原の歴史を知り郷土愛を持たせる。  |
|             | 硫黄島訪島事業                    | 2-③<br>2-⑤        | 宿泊行事での自らの役割に責任をもつ。<br>協力し合い、より良い集団を作ろうとする。                              |
|             | 定期考査<br>(2,3学期も同様)<br>遠泳大会 | 2-①<br>2-②<br>2-⑤ | 計画的に学習し、学力の定着、向上を図る。<br>粘り強く学習し、努力を積み重ねることができる。<br>協力し合い、より良い集団を作ろうとする。 |
| 2<br>学<br>期 | 小中高連合運動会                   | 2-②<br>2-③<br>2-④ | 全力で取り組むことができる。<br>運動会運営の仕事に責任をもつ。<br>得手不得手を理解しお互いに協力しあう。                |
|             | 学習発表会                      | 2-①<br>2-④        | 総合的な学習の時間の成果をまとめ、発表できる。<br>学年の発表を完成させるため、互いに協力し合うことができる。                |
|             | キャリア教育                     | 2-①               | 自己の特性を理解し、仕事を調べ、実際に体験し働く意義について考え、将来への展望を開く具体的なきっかけにさせる。                 |
|             | 職場体験                       | 2-④               | 体験を通して、自分の進路について考える。  |
| 3<br>学<br>期 | 百人一首大会                     | 2-①               | 各自の目標に向け、学習に取り組むことができる。   |
|             | ロードレース大会                   | 2-②               | 練習に真面目に取り組み、記録の向上・変化から達成感を得ることができる。                                     |
|             | 卒業式                        | 2-⑤               | 卒業を喜ぶとともにお互いに励まし合い、在校生としての自覚をもち最高学年への心構えとする。                            |

### 4 学級目標

「c o n s c i o u s l y ～意識を実幸力に～」